

第11回日野川源流米コンテストが開催されました。

日野郡内の農家が生産したお米の品質・食味の向上を図ることと、その美味しさを消費者に紹介することを目的とした「食のみやこ鳥取県第11回日野川源流米コンテスト」(主催:日野郡産米改良協会)が今年も開催されました。

今年はコシヒカリ部門の他に、新たにひとめぼれ部門を設け、合計220点の出品がありました。11月3日(日)に、鳥取西部農協直売所ふれあい村アスパル(西伯郡日吉津村)を会場に、最終審

査と表彰式が行われました。

審査は事前に、整った粒の割合が一定以上の米の中で、食味値が高い上位4点を選び、最終審査で来場者200名に1番おいしいと感じたものを投票していただき最優秀賞を決定しました。

また会場では、日南町の郷土芸能である奥日野源流太鼓演奏や、日野町の農産物加工所による日野郡産新米おにぎりと豚汁が振る舞われ、大変賑わいました。



最優秀賞授与式



奥日野源流太鼓演奏



日野郡産新米おにぎりと豚汁試食

○第11回日野川源流米コンテスト受賞者○

◆最優秀賞【コシヒカリ】

船越 真一(日南町)

◇優秀賞【コシヒカリ】

海草米研究会 三上 悅二(日南町)

佐伯 忠重(日南町) 末次 輝夫(江府町)

●奨励賞

(コシヒカリ) 高橋 秀紀(日南町) 山本 福枝(日南町)

長谷川 仁(日南町) 生田 茂(日野町)

河上 宏史(江府町)

(ひとめぼれ) 稲田 正純(日野町)

○特別賞

(コシヒカリ) 海草米研究会 三上 悅二(日南町)

(ひとめぼれ) 佐伯 忠重(日南町)

平成25年10月22日(火)に鳥取市の知事公邸にて、平成25年度の鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰式が執り行われました。

この表彰は、鳥取県における農林水産業の発展並びに、その技術及び経営の改善意欲の高揚を図るために、経営が特に優秀と認められる農林水産業者を対象とした優秀経営農林水産業者等6部門について、知事から表彰されるものです。

今年は県内の57経営体が表彰され、日野郡からは「優秀経営農林水産業者(農産部門)」として岩田正さん(日南町阿毘緑)、「未来を担う青年農林水産業者」として松本洋一さん(日野町根雨)の3名の方が受賞されました。

日野郡の農業者の表彰は、平成19年度以来7年ぶりの栄誉となります。

今後もこの栄誉が続くよう、日野郡の農業者を支援していきたいと思います。

日野郡の農業者の表彰は、平成19年度以来7年ぶりの栄誉となります。

日野郡の農業者も表彰

ー鳥取県優秀経営農林水産業者等表彰ー

日野郡の表彰者紹介

- 優秀経営農林水産業者…農林水産業を営み、その経営が特に優秀と認められる方
- 未来を担う青年農林水産業者…農山漁村において、担い手又は補助者として意欲的に取り組んでいる方
- いきいき農林水産業者…活き活きと農林水産業及び加工品の開発・商品化に取り組み、地域に貢献されている方

未来を担う青年農林水産業者



高田 昭徳さん
(日野町下黒坂)

NPO法人学生人材バンク在籍中の活動を通じて知り合った里山元気塾(日野町)塾長から農業経営を継承し、水稻の減農薬栽培やナタネ生産に取り組まれ、地域の担い手として期待されています。

優秀経営農林水産業者(農産部門)



岩田 正さん
(日南町阿毘緑)

水稻、トマトの生産に取り組まれ、長期に渡って安定的な農業経営をされています。

今年5月には日南町農業委員に選任され、農地の流動化や耕作放棄地発生の抑止などにも努めておられます。

いきいき農林水産業者



松本 洋一さん
(日野町根雨)

環境に配慮した環境保全型農業や米の食味値向上に取り組まれ、平成24年には「米・食味分析鑑定コンクール(主催:米・食味鑑定士協会)」都道府県の部にて、県内では初めて金賞を受賞されました。

問

日野振興局 農業振興室 電話 0859-721-2003

問

日野振興局 農業振興室 電話 0859-721-2005